

3 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 催 日 平成 28 年 2 月 25 日 (木)
- 2 開 催 場 所 新館 10 階 大会議室
- 3 出席した委員 吉田委員長、森委員、坂元委員、廣岡委員、田淵教育長
- 4 出席した職員 諏訪教育総務部長、日浦教育指導部長、
大西教育総務部次長、谷池教育指導部次長、
青山教育指導部参事、
吉田教育総務課長、小西教育総務課主幹、
竹中学務課長、野村社会教育・スポーツ振興課長、
大西学校教育課長、長瀬青少年育成課長、
長谷川教育研究所長、鶴谷文化財調査研究センター所長、
脇谷少年自然の家所長、竹内中央図書館長、
芝本教育総務課副課長
- 5 傍 聴 者 5 人
- 6 議 事 の 要 旨
 - 開 会 午後 2 時 00 分
 - 会議録署名委員指名のこと
吉田委員長、廣岡委員に決定
 - 2 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録 報 告 承 認 の 事 項
(事務局から会議録朗読報告)
承 認
 - 会議公開の可否決定のこと
全ての議事を公開することに決定
 - 次期定例教育委員会予定日のこと
4 月 7 日 (木) 午後 3 時 30 分から開催することに決定

(協議事項)

- 1 「教育アクションプラン 2016」の策定について
(教育総務部次長から 説明)
原案可決

委 員 : 2ページの「親として成長する学びの推進」に、「子育て講座」と「各種子育て講座」という表記がある。特に意味に違いがなければ表記を統一した方が良いのではないか。

事務局 : 担当課に確認した上で修正を検討したい。

委 員 : 見出しに注釈がついている箇所があるが、一般的に見出しには注釈はつかないように思う。必ずしも修正を求めるものではないが、一度事務局において検討願いたい。

委 員 : 最重要取組事項とその他の取組事項の位置付けの違いについて、説明をお願いしたい。

事務局 : それぞれの取組事項のうち、各担当課から平成 28 年度に特に力を入れて進めていきたいと報告があったものを最重要取組事項として整理している。

委 員 : 予算的観点や優先度等、様々な意味合いがあると思うが、「最重要」として位置づけている意味について整理した上で、それぞれの担当課への意識付けを行ってほしい。

委 員 : 第 2 期「かこがわ教育ビジョン」との整合が図られており、次年度に取り組むべき事業がわかりやすく整理されている点で、これまでのアクションプランと比較しても良いものになっていると思う。第 2 期「かこがわ教育ビジョン」に掲げている内容が着実に実行できているかを検証するための指標にもなると考えるので、記載した取組についてはしっかりと進めていってほしい。

2 平成 27 年度 3 月補正予算に係る意見について

(教育総務部次長から 説明)

原案可決

委 員 : 入札により執行残が生じる状況について、説明をお願いしたい。

事 務 局 : 例えば、予算額の 90 パーセントの金額で落札された場合、残りの 10 パーセント分が執行残となる。

委 員 : 小学校給食調理業務の受託業者確保が困難になっているとのことであるが、今後も同様の状況が続くことになるのか。

事 務 局 : 他市においても給食調理業務を委託する事例が増えていることや、業者において調理員の確保が難航していること、本市の仕様において資格要件等を厳しくしていること等、様々な要因により、今後も同様の状況が続くものと思われる。

委 員 : 中学校給食の実施にも関係する課題であるため、注視すべき状況である。異物混入等の問題もあるため、金額だけを重視した業者選定は避けるべきであり、今後も給食業務の安定的な実施に向け、しっかりとした予算措置が必要であると考えている。

委 員 : プールの給水栓を閉め忘れたことにより大量の水が流出し、関係職員が損失を弁済した他市の事例が先日報道されていた。本来は補正予算により対応すべきものが、個人弁済で対応するような時代になってきている。本市でもこのような事例が発生しないよう注意喚起を行ってほしい。

3 平成 28 年度当初予算に係る意見について

(教育総務部次長から 説明)

原案可決

委員 : 平岡中学校の校庭を活用した雨水貯留が新規事業として 5,700 万円措置されているが、今後、その他の学校に拡充していく予定があるのか。

事務局 : 平成 28 年度は水田川流域での対応ということで、平岡中学校をモデル校とした予算措置となっている。今後は法華山谷川流域の学校を対象とした調査・検討を進める予定である。

委員 : 「新たに電子書籍の導入を図る。」とあるが、この内容について、もう少し詳しい説明をお願いしたい。

事務局 : 昨年 11 月に図書館システムが刷新されたことにより電子書籍への対応が可能となった。書籍の電子化は出版社によって差があり、通常の出版物のように均等には出版されていないが、できる限り一定の分野に偏ることのないよう、様々な分野の電子書籍を導入していきたい。導入時期については、現在のところ未定であるが、遅くとも 7 月を目途と考えている。

委員 : 少年自然の家のバリアフリー化に関して予算措置がなされている。市内の学校はもちろんのこと、他市町の学校へもバリアフリー化が進むことの周知を図り、利用者の増加に努めてもらいたい。

4 加古川市スポーツ推進委員の委嘱について

(教育指導部次長から 説明)

原案可決

委員 : 職業欄を見ると「教諭」が多く見受けられるが、地域の一市民の立場から推進委員を担ってくれていることについて、感謝申しあげたい。また、かなりの勤続年数になる委員もおられるが、表彰制度のようなものはあるのか。

事務局 : スポーツ推進委員は、全国、県、東北播地域、市の順に段階的な組織となっている。それぞれの組織で表彰制度をもっており、節目の勤続年数をもってその対象となる。文部科学大臣表彰が最も大きな表彰となっている。

委員 : 加古川市スポーツ推進委員の具体的な活動を改めて説明してほしい。

事務局 : 会長1名、副会長4名から成る組織であり、副会長4名の推薦母体となる4つの部会が存在している。PR用の冊子を発行する広報部会、ニュースポーツ等の普及を図る普及部会、市民がスポーツに親しむきっかけとなる様々な事業を実施する事業部会、技術指導の研修を行う研修部会があり、それぞれ活動しているところである。

5 平成 28 年度加古川市立学校教職員研究・研修計画について

(教育指導部参事から 説明)

原案可決

委 員 : 研究員会の構成員に 20 名の教諭がいるが、どのように選出されているのか。

事 務 局 : それぞれの学校に属する教諭の人数に応じ、今後 6 年間の選出計画を立てている。

委 員 : 全ての科目に言えることであるが、研修の企画に当たっては、ユニット 12 の理念も踏まえ、幼小中の連携を重視したものとなるよう努めてほしい。

事 務 局 : 例えば「豊かな感性を育む幼児教育研修講座」では、幼稚園教諭だけでなく、小学校低学年の教諭を対象とするなど、幼小の連携を意識したものとなっている。

委 員 : 今後も「研修のための研修」にならないよう、より多くの教諭の興味を引くような内容を検討してもらいたい。

委 員 : 次年度に企画されている研修の中で、目玉となる研修や、協調したい研修があればこの場で教えてほしい。

事 務 局 : ベテラン教諭の大量退職により若手教諭の育成が求められる中、県では 1 年目、2 年目の教諭を対象とした年次研修を実施することを踏まえ、本市においては 3 年目、4 年目の教諭を対象とした年次研修を実施し、若手教諭の授業実践力の向上に特に力を注いでいきたいと考えている。

委 員 : 教育研究所が主催する研修に加え、各学校においても独自に研修を実施するなど、管理職が中心となり若手教諭の育成に取り組んでいる。それらが相まって若手教諭の資質能力の向上につながっているものと考えている。

委 員 : 「加古川教師塾」は、自主的に実施しているものであり、教育研究所が主催している体系的な研修の枠外になると考えるので、表記の方法を検討してもらいたい。また、各学校園での研修テーマが決定しているのであれば、計画のどこかに掲載することも、今後検討してもらえればと考える。

6 加古川市指定有形文化財の指定について

(教育指導部次長から 説明)

原案可決

委員：参考資料として添付されている「加古川市文化財解説シート」は、文化財の数に応じてかなり蓄積されてきているのか。

事務局：現時点では全ての文化財に対して解説シートがある状態ではない。今後、印刷予算の確保も含めて解説シートを増やしていくよう努めていきたい。

委員：市内の文化財マップを作成して配布してはどうか。

事務局：以前作成していたが、既に在庫がなくなっている状況である。観光の観点からも関係部局と調整しながら、今後作成を検討していきたい。

委員：各地域には古くから伝わる言い伝えのようなものがある。それらが消えてしまわないよう、資料として保存していくことも重要であると考える。

委員：このような文化財の存在は、子どもたちを含め、是非校区の方に知ってもらいたいと思う。そして、それが地域の誇り、加古川市の誇りとなっていくよう、文化財調査研究センターだけでなく、関係部署と協力して展開していってもらいたい。

○ 教育総務部長諸報告

(1) 交通安全指導員事業の見直しについて

平成 27 年 9 月、10 月に「登下校時における交通安全の見守り活動に関する調査」を実施したところ、各地域の町内会長、PTA 会長、民生児童委員、学校園支援ボランティアの方々から、たくさんのご意見、ご要望をいただいた。

子どもたちが、安全に通学できるように、これらのご意見、ご要望などを勘案し、交通安全指導員事業の見直しを進めていく。

以上、1 件について報告

○ 教育指導部長諸報告

- (1) 平成 27 年度 第 5 回社会教育委員会議の報告について
2 月 4 日（木）に開催した第 5 回の会議内容について報告する。
- (2) 第 8 回加古川教育フォーラムの開催報告について
2 月 13 日（土）に開催した加古川教育フォーラムについて報告する。
- (3) 浜の宮中学校吹奏楽部の「全日本アンサンブルコンテスト」出場について
3 月 19 日（土）高松市のアルファあなぶきホールで開催される大会に、木管八重奏で出場する。
- (4) 平成 27 年度中学校卒業式への教育委員会出席予定者について
各中学校への出席者が決定したので報告する。
- (5) その他関係行事について
2 月 27 日（土）14：00～ 禁煙・防煙、いのちを守るフォーラム
28 日（日）09：30～ 第 28 回 加古川カップ綱引大会
3 月 10 日（木）市内中学校 卒業証書授与式
11 日（金）加古川養護学校高等部 卒業証書授与式
18 日（金）加古川養護学校幼小中学部 卒業証書授与式
市内幼稚園 卒園式
23 日（水）市内小学校 卒業証書授与式

以上、5 件について報告

○ 閉 会 午後 3 時 35 分